

仙台市片平地区において「防災×宝探しゲーム」の企画・実施を支援しました (2017/03/05)

テーマ: 地区防災計画、防災、まちづくり、人材育成
場所: 仙台市片平地区

3月5日(日)、平成28年度内閣府地区防災計画モデル事業活動として、片平まちづくり会の主催により「防災×宝探しゲーム」が実施されました。当研究所の佐藤健 教授(情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野)は同地区の「災害に強いまちづくり委員会」委員として、桜井愛子 准教授(同上)は「平成28年度内閣府地区防災計画制度の普及促進の在り方に関する有識者懇談会アドバイザー」として、片平地区の今年度の地区防災活動ならびに「防災×宝探しゲーム」の企画、実施を支援してまいりました。

片平地区では、平成22年より片平地区まちづくり会(今野均 会長)ならびに「災害に強いまちづくり委員会」、片平地区の10名のSBL(仙台市地域防災リーダー)が中心となって、地区防災対策の強化に向けたプロジェクトを推進しています。「防災×宝探しゲーム」は、これまで観光客誘致やまちおこしを主たる目的に実施されてきた体験型ゲームの手法に、防災の要素を加えて、地区防災活動の推進のために片平地区が日本で初めて企画・実施した活動です。片平地区では、これまでのまちづくり/防災活動の中で、地域の自然条件や土地利用の変遷、歴史等をまとめた「片平地区平成風土記」の編纂、2011年の東日本大震災や2015年の東北豪雨での避難所対応の経験と教訓を踏まえた地区避難施設(がんばる避難施設)の選定、地区としての総合防災訓練等を行っています。宝探しゲームでは、こうした活動成果を踏まえて、地区の歴史・地形、過去の災害被害、避難所の場所や機能等について楽しみながら学ぶことができるように企画されました。当日は、片平丁小学校の5、6年生、片平地区子どもまちづくり隊の中学生、まちづくり活動を支援する大学生、東北大学の留学生、一般参加者など、合計113名が参加しました。

片平地区では、今回対象となった地区内の2町内会に加えて、来年度は新たに対象を拡大して「防災×宝探しゲーム」を企画・実施する予定です。こうした活動を通じて、片平地区のまちづくりや防災活動を支える地域の人材の発掘と育成を図っていくことがねらいです。防災を全面に打ち出すのではなく、体験型ゲームを通じて、防災の要素「も」加えていく新たな取組みのひとつとして「防災×宝探しゲーム」の今後の発展が期待されます。



宝探しゲームの様子



全体写真

文責: 桜井 愛子、佐藤 健(情報管理・社会連携部門)